

報告事項 ス

山陰海岸学習館の生態展示の開始について

山陰海岸学習館の生態展示の開始について、別紙のとおり報告します。

平成20年7月15日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

山陰海岸学習館の生態展示の開始について

鳥取県立博物館付属「山陰海岸学習館」では、県民の海洋に関する知識の普及を図り、体験学習等を通じて自然を大切にする心をはぐくむための施設として、専門の学芸員を配置して来館者ニーズを踏まえて機能の充実を進めています。

今回、来館者ニーズの高い水槽展示について、身近な海の生きものの興味深い行動を間近で観察できる「生態展示」を行えるメイン水槽を新設するなど、水槽展示を一新しました。

なお、水槽での生態展示は、7月23日（水）から一般公開を始めます。

1. 生態展示の概要

(1) イカの生態展示

- ・水槽規模：メイン水槽（幅2.5m×高さ1.2m×奥行1.5m、水量約4t）1基及び備蓄用水槽1基
- ・展示内容：一年で寿命を終えるイカの一生を通年で観察できる今までにない新しいタイプの生態展示。鳥取県になじみの深いイカの一生（卵・ふ化・成長・交尾・産卵）をリアルタイムで展示しながら、学習したり調べたりできるこのような生態展示は当館の調べでも例がなく、全国的にも非常に珍しい展示となる。

(2) 身近な海の生きものの生態展示

- ・水槽規模：小型水槽 8基
- ・展示内容：身近な山陰海岸で暮らしている生きもの（魚類・ウニ・ヒトデ・ウミウシなど）の興味深い生態や行動を紹介する。

2. 一般公開の開始

(1) 日 時 平成20年7月23日（水）午後2時～

(2) 場 所 山陰海岸学習館（岩美郡岩美町牧谷1794-4）

(3) 内 容 ・幼稚園児らによる除幕の後、一般公開します。

（※ 午後1時30分から地元小学生によるイカの移し替え等準備作業を行う）

【参考】山陰海岸学習館の整備計画

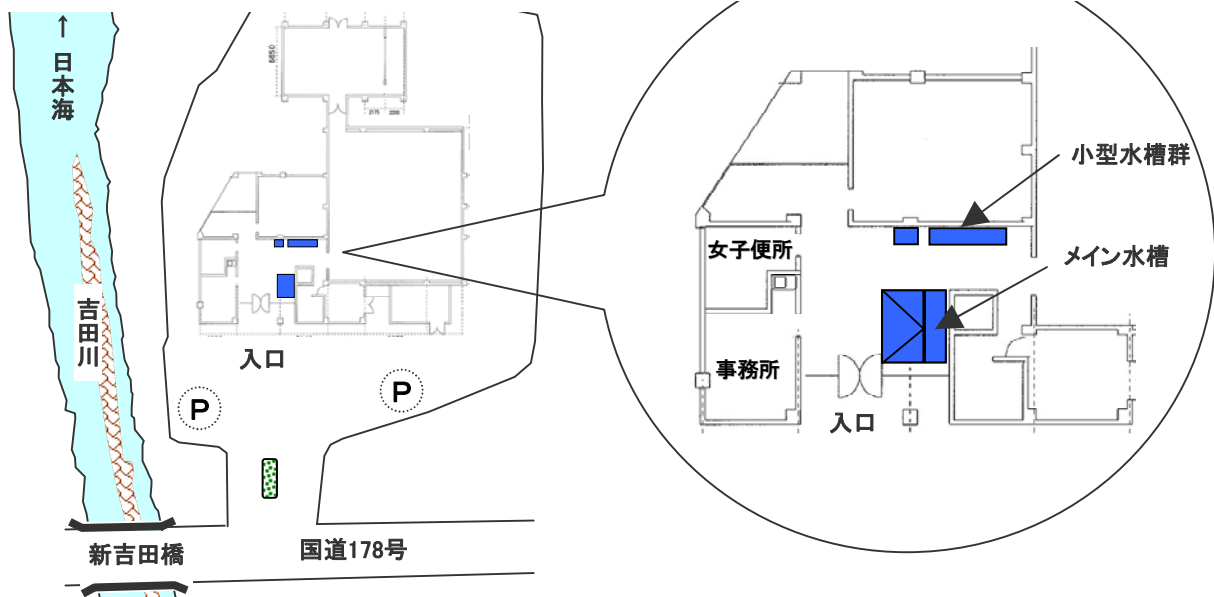
年度	生態学習機能の充実 (水槽群の更新)	参加体験機能の充実 (常設展示室等の整備)
H19	・メイン水槽、小型水槽の製作	・「実験・観察室」の整備 (図書整備、実験台の器材設置等)
H20	・メイン水槽、小型水槽の設置工事 ・屋外貯水槽設置工事 ・ メイン水槽及び小型水槽による生態展示の開始(7月)	(展示室のリニューアル計画の検討)
H21 ～22		・各種展示物の製作 ・展示室リニューアル工事 ・各種展示物の設置工事 ・ 展示室リニューアル完成(平成22年7月頃予定)

【メイン水槽の設置状況】



【山陰海岸学習館 水槽設置場所】

[水槽付近の拡大図]



【山陰海岸学習館の場所】

